

平成 30 年 5 月 29 日

広島県との連携協定締結について

株式会社エネルギー・コミュニケーションズ(略称:エネコム, 本社:広島市, 取締役社長:熊谷 鋭)は、広島県が今年度から実施するAI/IoT実証プラットフォーム事業「ひろしまサンドボックス」について、広島県(知事:湯崎 英彦)と、「AI・IoT等の利活用推進による地域活性化に関する協定」を締結しました。

1. 協定締結に至った背景

広島県では、AI/IoT、ビッグデータ等のデジタル技術の利活用により、これまでにない新しいソリューションを創り出すための実証実験の場「ひろしまサンドボックス」*を構築するとともに、この実証実験に、平成30年度から3年間で最大10億円規模の投資を行い、県外からも多様な企業や人材を呼び込み、叡智を結集することで、様々な産業、地域課題の解決に取り組むことを公表しています。

一方、エネコムは、IoTソリューションやRPAソリューションを中心に、ICTを通じて社会の発展に貢献する企業として、中国地方を事業基盤に情報通信事業を展開するとともに、地域の活性化の取り組みについても継続的に支援しております。

このような背景のもと、このたびの広島県が行う「ひろしまサンドボックス」について、AI/IoT等の利活用による相互連携を推進することに両者が合意し、今回の連携協定を締結する運びとなりました。

2. 連携協力の内容

- (1) 製造、物流業の品質や生産性向上に関すること
- (2) エネルギーの有効活用に関すること
- (3) 働き方改革など、企業経営課題に関すること
- (4) その他、行政課題の解決や地域の活性化に資すること

連携・協力により取り組む概要は、上記のとおりです。実施方法やその他の詳細は広島県と協議の上、進めてまいります。

3. 今後の展開について

上記事項のみならず、様々な分野において、さらなる地域活性化に向けて、AI/IoTを活用した取り組みを推進していきます。

※ ひろしまサンドボックスについて
<http://hiroshima-sandbox.jp/>

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。
ITサービス事業部：山本, 藤原 TEL 050-8201-3001